

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2015年1月13日（火）18：30～19：58

場 所：虎ノ門 第一オカモトヤビル4階会議室

出席者：理 事：飯島、尾山、黒岩、児玉、才藤、庄野、関根、外山、平松、三輪

監 事：今北

事務局：長谷川

欠席者：理 事：伊藤、大谷、小川、北村、新通、丹羽、羽柴、星野

監 事：藤田（以上、アイウエオ順）

尾山会長が議長となり、議事録作成人に庄野理事、同署名人に才藤理事を指名して、下記議案につき審議した。

1. 業務委託契約書最終案並びに委託先の件

- ◇ 議長より総務委員会にて意見を反映し、懸案であった業務委託契約書最終案をまとめたので、早期に締結したい意向が示され、委託先を有限会社フリーチケットとし、本年については事務局長交代もありダブルコストになるところ委託金額を予算通り年額60万円以内、業務内容の明確化と報告を適切に行うことを条件として、原案通り承認された。

2. 会則・運営規則・施行細則修正案の件

- ◇ 議長より役員各位へ意見聴取を行った上で総務委員会にて意見集約を行い、現状と矛盾する条項を修正すべく会則修正案をとりまとめた旨が報告され、会則第40条（会則の変更）には「本会則の変更は、総会に於いて、正会員の3分の2以上の議決を得なければならない。」との記載があるが、この会則の制定時を知るメンバーや古参の方に聞いたところ、この記載は誤りのようであり、平成20年会則改正時も係る規程を適用しておらず、正しくは「委任状提出者を含む総会出席者の3分の2以上の議決」（通常議案より厳格な定数）ではないかとの言質を得たので、総会出席者の3分の2以上の議決にて進め、総会へ諮りたい旨が説明された。

3. 湘南レース共同主催の件

- ◇ 関根事務局長より別紙の通り12月20日にリビエラリゾート社と共同主催となった湘南レースについての打合せが行われ、①2ヶ月に1回行われるソーセージレースについては当クラブから海上運営スタッフ3名を派遣すること、②同スタッフについては交通費3千円とお弁当を支給し、アルバイトを雇う場合は費用を当クラブとリビエラリゾート社で折半すること、などが報告された。また、当クラブから運営スタッフ3名を派遣できない場合、当クラブの負担は1回あたり最大9千円となることが確認された。

4. 新春親善レースの件

- ◇ 関根事務局長より65艇の参加艇を得て、1月4日に盛大に開催されるも、風がなくフィニッシュできた艇が7艇に留まり、優勝は当クラブのEbb Tide、冬場にも関わらず

参加艇の多さやパーティの賑わいを考えると成功と評価できるとの報告がなされた。

5. 会費徴収方法について

関根事務局長より JSAF 本部の新しい会費徴収システムの内容も反映した上で、新規入会についてのみ同システム経由での会費支払いを可として、更新については従前同様の口座引落とする旨が補足説明された。

6. その他

①西宮横浜レースについて

関根事務局長より西宮横浜レース実行委員長から当クラブへ手紙が届き、役員各位へ回覧した旨が報告され、児玉理事より西宮横浜レースの立ち上げメンバーと神戸横浜レースの名称に拘ったメンバーとが、レースを一本化することができず今日に至った旨が補足説明された。

②みさきヨット無線局について

児玉理事より 2010 年から VHF 無線海岸局への加入推進を図るため当面の間加入料・利用料を無料とするキャンペーンを展開してきたところ、全国で 260 局の加入増加を果たし、当初の目的は達成されたとの評価から、2015 年 4 月より有償へ戻す運びとなり、所管加盟団体が請求・入金等の管理を行う必要があるところ、みさきヨット無線局に平成 22～23 年に加入した艇を前提に試算をすると、当初企図した三団体での費用分担の必要がない見通しであり、今後の見通しを立てたい旨が報告された。

以上で本日の議事を全て終了し、19 時 58 分閉会した。

以 上

2015 年 1 月 日

議事録署名人